

○フェンタニル注射液 [注]・○デュロテップMTパッチ [外]

【重要度】 【一般製剤名】 フェンタニルエン酸塩 [注] フェンタニル [外] (U) Fentanyl Citrate 【分類】 麻薬性鎮痛剤

【単位】 ○0.1mg/A [2mL], ○2.1mg・○4.2mg・○8.4mg・○12.6mg・▼16.8mg/MT

【常用量】 ■注射：麻痺維持時：0.01～0.1mL/kg/hr, その他は添付文書参照■経皮：モルヒネ製剤から切り替えて使用

【用法】 ■注射：添付文書参照■経皮：72hr 毎に貼り替え

【透析患者への投与方法】 基本的に少量より開始されるが、減量の必要なし (5)

【その他の報告】 常用量の50%に減量 (3,12) 鎮痛目的のオピオイドとして良好な選択である (King S, et al: Palliat Med 2011 PMID: 21708859)

【PD】 50%に減量 (3)

【CRRT】 75%に減量 (12)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 基本的に少量より開始されるが、減量の必要なし (5)

【その他の報告】 GFR>50mL/min：減量の必要なし, GFR10～50mL/min：75%に減量, GFR<10mL/min：50%に減量 (3,12)

血中濃度が高くなるおそれがあるため注意 (U)

【特徴】 鎮痛作用がモルヒネの20倍以上。ドロペリドールと併用してNLA麻酔にも用いられる。

【主な副作用・毒性】 モルヒネ様の薬物依存, 呼吸困難, ショック・アナフィラキシー, 血圧降下, 不整脈, 悪心・嘔吐, 精神神経症状など

【F】 経皮投与時92% (1)

【tmax】 42hr (外用) (1)

【Cmax】 2.5mg 単回72時間貼付で0.83 μ g/mL, 体温が3 $^{\circ}$ C上昇するとCmaxは25%上昇する (1)

【代謝】 CYP3A4によりノルフェンタニルに代謝される (1) 肝クリアランスに限界があるため非線形クリアランスを示す (Bower S: Br J Anaesth 54: 871-7, 1982)

脱アルキル化, 水酸化により不活性化代謝物に変換される (U) ノルフェンタニルの活性は未変化体1/950 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率8%未満 [72hr まで] (1) 8%以下 [iv] (1) 1%未満 (U) 6～8% (12) 0.4% [24hr まで] (Schuttler J, Stoeckel H: Anesthesist 31: 10-4, 1982) 尿中回収率85% [72hr まで] (1)

【CL】 0.4～1.5L/min (Mather LE: Clin Pharmacokinet 8: 422-46,1983) 500 mL/min (Hengstmann JH: Br J Anaesth 52:1021-5,1980) 37mL/kg/min (Murphy MR: Anesthesiology 59: 537-40, 1983) フェンタニル27～75L/hr (1)

【腎 CL/全身 CL】 10%以下 (Mather LE: Clin Pharmacokinet 8: 422-46,1983)

【T1/2】 34.6hr [外用], 3.6hr [注] (1) 7hr (U) 2.5～3.5hr (12) 最終相219min (McClain DA, Hug CC Jr: Clin Pharmacol Ther 28:106-14,1980) 1.5～6hr, 高齢者15hr (Mather LE: Clin Pharmacokinet 8: 422-46, 1983) 2hr (Hengstmann JH: Br J Anaesth 52: 1021-5, 1980) 211min (Murphy MR: Anesthesiology 59: 537-40, 1983)

【蛋白結合率】 84.4% (1) 82% (Reitz JA: J Clin Pharmacol 26: 60-4,1986) 92% (Schuttler J, Stoeckel H: Anesthesist 31:10-4, 1982) 80～85% [AAG, Alb, リボプロテイン] (U) 79～87% (12)

【Vd】 60～300L/man (Mather LE: Clin Pharmacokinet 8: 422-46, 1983) 80L/man (Hengstmann JH: Br J Anaesth 52:1021-5,1980) 9.51L/kg (Murphy MR: Anesthesiology 59: 537-40,1983) 2～5L/kg (12) 3～8L/kg (1) 3.1～7.8L/kg (U)

【MW】 336 (フェンタニル)

【透析性】 血清濃度低下率11.5%, ダイアライザー抽出率1.8%とほとんど除去されない (Bastani B: Nephrol Dial Transplant 12: 2802-4,1997)

【O/W 係数】 816 [1-オクタノール/水系] (1) LogP=2.96 [1-オクタノール/buffer, pH7.4] (1)

【相互作用】 中枢抑制剤との併用注意 (1) MAO 阻害剤, SSRI, SNRI など：セロトニン症候群 (1) CYP3A4 阻害剤や誘導剤との併用注意 (1)

【更新日】 20240701

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。